

鞘翅目(コウチュウ目)害虫抵抗性トウモロコシ MON863 系統、鱗翅目(チョウ目)害虫抵抗性
トウモロコシ MON810 系統及びラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系統の概要

項 目	概 要		
品 種	鞘翅目(コウチュウ目)害虫 抵 抗 性 ト ウ モ ロ コ シ MON863 系統	鱗翅目(チョウ目)害虫抵抗 性トウモロコシ MON810 系 統	ラウンドアップ・レディ ー・トウモロコシ NK603 系統
申請者	日本モンサント株式会社		
開発者	Monsanto Company (米国)		
製品の概要	とうもろこしに、 <i>Bt</i> (<i>cry3Bb1</i>)遺伝子を導入す ることにより Bt(Cry3Bb1) 蛋白質が発現し、コーンル ートワーム等の鞘翅目害虫 に抵抗性をもつ。	とうもろこしに、 <i>Bt</i> (<i>cry1Ab</i>)遺伝子を導入す ることにより Bt(Cry1Ab)蛋白 質が発現し、アワノメイガ等 の鱗翅目害虫に抵抗性をも つ。	とうもろこしに、 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子を導入することによ り、CP4 EPSPS 蛋白質が発 現し、除草剤グリホサートに 耐性をもつ。
宿主	デント種のとうもろこし (<i>Zea mays</i> L.)	デント種のとうもろこし (<i>Zea mays</i> L.)	デント種のとうもろこし (<i>Zea mays</i> L.)
挿入遺伝子 (供与体)	<i>Bt</i> (<i>cry3Bb1</i>)遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kumamotoensis</i> 由来)	<i>Bt</i> (<i>cry1Ab</i>)遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)	<i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> CP4 株由来)
選択マーカー (供与体)	ネオマイシン耐性遺伝子 <i>npt II</i> (<i>E.coli</i> 由来)	—	—
新たに獲得さ れた性質	鞘翅目害虫(コーンルートワ ーム等)抵抗性	鱗翅目害虫(アワノメイガ等) 抵抗性	除草剤グリホサート耐性
可食部分に発 現する遺伝子 産物と発現量	穀粒中の生組織重量1gあたり Bt(Cry3Bb1)蛋白質:70 μ g NPT II 蛋白質:検出限界以下	穀粒中の生組織重量1gあたり Bt(Cry1Ab)蛋白質:0.31 μ g	穀粒中の生組織重量1gあたり CP4 EPSPS 蛋白質:11 μ g
安全性審査を 経た旨の公表 (官報告示日)	平成14年2月21日	平成13年3月30日	平成13年3月30日